

実践記録

学校/学年	中学校 / 1 年	
教科等：単元名	学級活動：「コンピュータをつかった学習を前に」	
キーワード	学校のコンピュータの扱い方	
情報モラル指導 モデルカリキュ ラム表における 目標	分類	☐ 情報社会の倫理 ☐ 法の理解と遵守 ☐ 安全への知恵 ■ 情報セキュリティ ☐ 公共的なネットワーク社会の構築
	大目標項目数字 大目標項目内容	g4: 情報セキュリティに関する基礎的・基本的な知識を身につける
	中目標項目番号 中目標項目内容	g4-1: 情報セキュリティの基礎的な知識を身につける
授業会場	☒ パソコン教室 ☐ 普通教室 ☐ 特別教室〔 〕 ☐ その他〔 〕	
学習の目標	プライバシーや個人情報について考え、ID やパスワードの重要性を知り、個人情報の保護を意識した初期設定をすることができる。	
使用教材	教材名	SKYMENU
	製作者	
	入手先(URL 等)	

○ 展開案

	学習活動	指導 評価
導 入	1 これまでの学習経験をもとにコンピュータをどんなことに使ってきたか発表しあう。 2 個人情報にはどんなものがあるか考える。	・各小学校の活用状況も踏まえ、多くの生徒に発言を促す。 ・身近なメディアも取り上げ、目を向けさせる。
展 開	3 個人情報はどのようにしたら守ることができるのか考える。 4 SKYMENU 上で個人パスワードを設定する。	・自分の家庭や身近な人たちの対処方法なども紹介しながらパスワードの必要性に目を向けさせるとともにパスワードの質についても検討させる。 ・画面や拡大投影機を活用し、具体的な作業手順を説明する。 パスワードが他人に分かりにくいものとなっているか。
お わ り	5 校内のパソコンは常に個人パスを活用していくことを確認する。	・再起動の作業をさせて、ログイン方法を再確認させる。 ・お互いに気持ちよく学校のコンピュータを活用していくための手段であることをおさえる。

○ 授業の成果

- ・パソコンの操作・技能については個人差が大きい。今回は、スクールパートナーズ長野の援助を受け、授業展開に合わせ機器操作や生徒支援を行った。一斉授業では見逃しがちな未熟な操作によるトラブルなど、初期の問題をスムーズに解決できた。
- ・意見を出し合う中で、テレビを見ていたら、自動車のナンバープレートにもモザイクがかかっているがこんな配慮も個人情報の保守になっているということに気づいた生徒も多かった。
- ・自分のデータをいたずらされずに学習できるという安心感を語る生徒の発言もあり、生活の中に情報機器が溶け込んできている現在では、特に必要な事柄であるように思う。

○ 指導のポイント・留意点

- ・パスワードの設定には、その場で考えさせると意外と時間がかかってしまう。授業を行う前に、家庭で考えさせておくなど事前の準備が大切である。
- ・機器のトラブルや授業者の操作技能等が授業の展開に大きく関係してしまう。事前からスクールパートナーズ長野との連携を密にすることで効率的な学習になるし、「できること」の可能性が広がる。